

## 産業能率大学 経営学部

日本文学	履修年次	1	
	単位	2	
古賀 智久	配当期	後	
	授業方法	講義/ライブ	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>本講義では、日本文学の中で誰でも知っている有名な作品と、殆ど知られていない作品を扱う。最初の数回は古典を中心にしているが、基本文法の説明(古典文法は英文法に比べれば覚えることが十分の程度)と現代語訳も配布するので、難しいと臆せずに取り組まされたい。古文は全く分からないという場合でも、普段の会話で“よき”“凄い”“マジ”などが使われているのを耳にしたことはあるはずだ。これらは古文単語なので、数百年前から用いられている。現代の言葉遣いとは全く違う語句も多数あるが、授業でじっくり考えながら文章を読み進めていく。</p> <p>文学作品を通じて、日常に活かせる知識を身につけたり、現代に意外な影響を与えられていることに気づいたり色々な楽しみ方をしてみよう。文学作品が、単に現代の文学だけではなく、若者言葉、文化、歴史、芸能、経済、マナーなどにも大きくかかわっている実例を見つつ、幅広い角度から文学作品を解説していく。しっかり文が読めれば、SPIの読解問題や数的処理を解くことも容易であることにも時折ふれる。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の文学で有名な作品について、第三者から尋ねられた際に、自分の言葉で概略を説明できるようになる。</li> <li>・授業で扱う文学作品とそれに伴う知識を活かして、将来ビジネスの場でも独創的な発想を用いて考えられるようになる。</li> <li>・他の学生のコメントを聞き、自分とは異なる人の意見を取り入れ、今までよりも高い視点から自分を捉えるようになる。</li> <li>・様々な作品を読み、ことばに対する感受性を磨き、より豊かな言語表現ができるようになる。</li> </ul>			
成績評価の方法			
毎回の小テスト、課題の内容、出席などを総合的に評価する。出席は、授業を聴く態度等も評価する。なお、提出課題を出さないと、単位は認められないので十分注意すること。			
週	授業項目	週	授業項目
1	文学史概略 日常品を読む	8	『宇治拾遺物語』 「兎のそら寝」
2	『土佐日記』 「門出」	9	『徒然草』 「92段」「117段」「150段」
3	『枕草子』 「42段」	10	松尾芭蕉 俳句
4	『竹取物語』 「序章」	11	梶井基次郎 『檸檬』
5	『源氏物語』 「桐壺」	12	金子みすゞ 『積もった雪』
6	『大鏡』 「清範律師」	13	太宰治 『走れメロス』
7	百人一首 1番から10番まで	14	山本健吉 『日本の庭について』